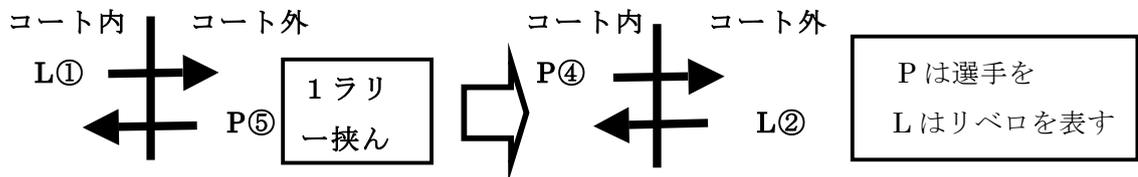


リベロシステムの取り扱い変更

1. 現状の高体連特別ルールによるリベロシステムをシニアルールに移行する。
2. 移行する理由は、
 - a. リベロシステム以外でも、すでに大学・実業団ではシニアルールで実施しており、高体連も可能な限りシニアルールと同じにする。
 - b. 従来の両コート同時に8名がリベロとその対象選手の移動があった場合の混乱と間違いが是正される。
 - c. アシスタントスコアラー（リベロチェック）の人員削減が可能となり、大会運営面からも割当、経費等の負担を軽減することができる。
3. シニアルールに移行。

★ 平成24年4月1日より実施。

★ リベロの交替は必ず1ラリーを挟まなければならない。

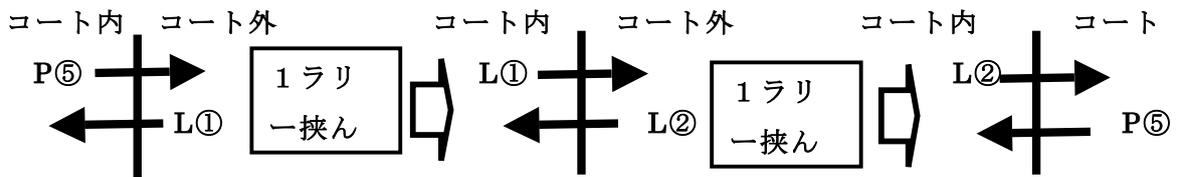


従来の高校ルールではこの交替は同時に行われていたが、シニアの場合は必ず1ラリーを挟まなければならない。

平成24年度の1年間は、上記リプレースメントの間違いについては、各チーム1試合1回につき、審判員より教え、反則としない。

但し、2回目以降は反則となり、ラリーを失う

★ リベロ同士の交替が可能。



従来の高校ルールには存在しない。

リベロ同士のリプレースメントは、1ラリーを挟んでいれば何度でも可能。

★ リベロ再指名は、必ずしもケガ等でなくても良い。

但し、リベロが1名の時に限る。（2名リベロであっても、その内の1名がけが等でリベロの機能を果たしていない場合はリベロ1名と考える）

一旦コートから外れた元の選手はその試合は再びコートに戻ることはできない。